

金山町 (やまがたけん もがみぐん かねやままち)

古民家再生の世界では「金山造り」といえば妻入り、白漆喰、片流れ屋根で知られる有名ブランドで、そこに使われる「金山杉」は高級ブランドの逸品。金山町は人口6000人の小さな町ですが、中心部には嬉しいほどに金山造りの家と蔵が残っています。そして公共の建築の質もよく、高層建築もないことから上質で静かな雰囲気を醸し出しています。きっと町の中心人物達が裕福で、その裕福が生んだ教育の成果といえるのでしょう。

明治11年(1878)7月、英国の作家イザベラ・バード女史が金山を訪れ、紀行文「日本奥地紀行」にこう書いています・・・「今朝新庄を出てから険しい尾根を越えて、非常に美しい風変わりな盆地に入った。ピラミッド形の丘陵が半円を描いており、その山頂までピラミッド形の杉の林で覆われ・・・その麓に金山の町がある。ロマンチックな雰囲気のある場所だ。私は正午にはもう着いたのだが、一日か二日ここに滞在しようと思う・・・」と印象を残しています。

町外れがまた面白くて、スキー場もある高原にはJR東日本グループの滞在型リゾートホテルがあって、温泉もあります。また、300年の金山杉が林立する森もあれば、満州への開拓に向かう青年達の農業訓練の場としてつくられたカムロファームもあって、円形木造建築の他、ホース・セラピー体験もでき、素敵なイタリアンレストランもあります。新庄でとんぼ返りはあまりにももったいない。ちょっと金山町に寄っていきましょう。



商家・西田家(屋号マルコ)から譲渡された土地や建物を整備した「街角交流施設マルコの蔵」

杉薫る 上質で浪漫チックな町

山形県金山町

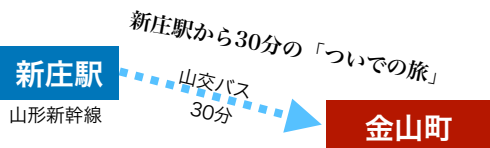
金山町の散歩はゆっくり楽しんで3時間。新庄駅からバスで30分ほどですが、本数が少ないので時刻表をチェックしておきましょう。金山町役場前で下車したら、まずは街角交流施設マルコの蔵で地図や情報を仕入れます。喫茶やショップもあるので休憩所としても便利です。見どころは●農業用水路の大堰。冬以外は錦鯉を放流、●旧郵便局だった洋館の交流サロンぼすと、●米蔵をリノベした蔵史館、●金山杉をふんだんに使ったきごころ橋、●ちょっと頑張って歩かか、レンタサイクルでカムロファーム、●木造建築や森を愛する人は大美輪の大杉で樹齢300年の金山杉を、●宿泊するのならグリーンバレー神室のシェネスハイム金山へ…役場前から有屋行き町営バスで15分。



蔵史館 米蔵を改修した町の文化活動の拠点
新庄から金山町に向かう道から眺める金山町。山と田に護られて美しい



満州への開拓に向かう青年達の農業訓練の場としてつくられたカムロファームにある円形木造建築
金山杉を用いた屋根付きの歩道橋「きごころ橋」はアーチがとても美しい



山形新幹線の終点である新庄駅から山交バスで金山町へ。バスは1日11本で所要時間は約30分。町の中心といえる「金山町役場前」で下車。新庄駅行きは、新幹線に合わせて時間が組まれている。

●バスの時刻表：
<http://www.yamakobus.co.jp/rosenbus/jikoku/frame/kaneyama.html>

●金山町探訪ガイド：

<http://www.town.kaneyama.yamagata.jp/kanko/>



農業用水路として町中を巡る大堰は町のシンボルで錦鯉が放流される



交流サロンぼすと 昭和11年から43年間、地域特定郵便局だった建物。平成12年に町民の憩いの場・創造の場としてリノベされました。



グリーンバレー神室 滞在型ホテルを中心とするリゾートエリア



金山造りの料亭・栄屋で金山料理を...



設計事務所カネカが金山造りの自宅内につくったカフェ